
岐阜市内でのカミツキガメ孵化幼体発見の初記録

楠田 哲士

501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学応用生物科学部 動物繁殖学研究室

First record of a hatchling snapping turtle *Chelydra serpentina* found in Gifu City

By Satoshi Kusuda

*Laboratory of Animal Reproduction, Faculty of Applied Biological Sciences, Gifu University, 1-1
Yanagido, Gifu 501-1193, Japan*

はじめに

カミツキガメ (*Chelydra serpentina*) は、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(外来生物法)に基づく同法施行令により 2005 年に特定外来生物に指定されている。そのため、飼養等が原則禁止され、輸入や放出等も原則禁止されている。2015 年には、環境省および農林水産省により発表された「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(生態系被害防止外来種リスト)において、総合対策外

来種(国内に定着が確認されているもの、生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種)のうち、緊急対策外来種(対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある種)に指定されている(環境省, 2020)。

1980~1990 年代の爬虫類ペットブーム時代には、カミツキガメの幼体が大量に輸入され、熱帯魚店や商店街の鳥獣店など、爬虫類

専門店以外でもごく一般的に比較的安価に販売されていた。しかし、背甲長 30~40 cm 程度まで成長し、頭部が大きく尾が長いこと、全長はその倍ほどになる大型種である。非常に活動的で攻撃性も強いことから、成長に伴いペットとしては飼育困難になる場合が多く、遺棄や逸走につながったと考えられる。

カミツキガメの 1 回の産卵数は 26~55 個 (Congdon et al., 2008) と多いことや、カメ類の多くの種の雌は生存精子を卵管内に長期間貯蔵でき受精卵を産み続けられることから (Galbraith, 1993; Ernst and Lovich, 2009)、野外でいったん繁殖し始めると増殖速度は非常に速いと思われる。

カミツキガメの岐阜県内における発見・捕獲例については、把握できた限りにおいて、2003 年から 2022 年 7 月までの情報を報告している (楠田他, 2019; 2023)。これらの捕獲地は、岐阜市、羽島市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、海津市、不破郡垂井町であり、計 21 個体であった。

その後、岐阜県岐阜市で 2022 年 10 月 11 日に、孵化直後と思われる幼体が初めて発見された。本稿ではその発見状況について報告する。

岐阜市内での孵化幼体発見の初記録

2022 年 10 月 11 日の朝 9 時半頃、伊自良川右岸の河川敷 (岐阜市下尻毛, 35°25'52.8"N, 136°42'55.4"E) で、発見者自身のカブ畑内で農作業中にカミツキガメ幼体 1 個体が発見・捕獲された (図 1, 2)。岐阜市役所へ通報があり、岐阜市環境部環境保全課から岐阜県環境生活部岐阜地域環境室へ報告された。同日、著者へ種同定の依頼があり、また個体は岐阜地域環境室へ同日収容された。著者が 10 月 13 日に引取り、各部計測を行った。背甲長 31.1 mm, 体重 8.6 g, 性別不明であった (表 1)。11 月 10 日、NHK 岐阜放送局による捕獲地の取材に同行し、発見者に面会して直接詳細の聞き取りを行った。

発見者は、以前にも伊自良川河川敷の別の畑で作業中にミシシippアカミミガメ (*Trachemys scripta elegans*) の幼体を発見していた。発見地付近の伊自良川では、2019~2020 年の著者らの調査において、多数のミシシippアカミミガメが捕獲されており、次いでクサガメ (*Mauremys reevesii*) と少数のニホンイシガメ (*M. japonica*) が捕獲されている。2020 年 6 月 1 日、伊自良川左岸の河川敷 (岐阜市旦島, 伊自良川グラウンド) で、ミシシippアカミミガメがグラウンド上を歩いているところが目撃され、6 月 8 日にはホンDIGツネ (*Vulpes vulpes japonica*) がカメ (種不明) の産卵巣を掘り返し、卵を捕食しているところも撮影されている (渡邊智之私信)。これらのことから、今回のカミツキガメ幼体が発見された伊自良川河川敷は、淡水生カメ類の産卵の多い産卵適地であると考えられる。

カミツキガメは、北米の生息地では 5~7 月が産卵期で (Congdon et al., 2008)、野外では 63~119 日間で孵化することが報告されている (Finkler and Kolbe, 2008)。孵化時の体サイズは、背甲長平均 29.5 mm, 体重平均 9.1 g (Congdon et al., 2008)、あるいは背甲長 24~35 mm, 体重 5~14 g の範囲 (Finkler and Kolbe, 2008) であることが報告されている。千葉県に定着しているカミツキガメでは、産卵期は通常年 1 回の 6 月頃で、9 月頃に出巢することが知られている (小林, 2021)。今回発見された場所は畑地上であり、10 月は孵化・出巢時期の範囲内であることや、体サイズも孵化時の報告値の範囲であることから、この河川敷で産卵・孵化した個体である可能性が高いと考えられる。実際の産卵巣やその他の同腹幼体が発見できていないため、本個体が輸入や国内での飼育下繁殖個体の遺棄によるものであることは完全には否定できない。しかし、特定外来生物は原則輸入禁止であり繁殖も禁止されていることから、その可能性は低いと思われる。



図1. 捕獲されたカミツキガメの孵化幼体 (2022年10月13日著者撮影).

今回幼体が発見された岐阜市内の伊自良川水系（あるいは長良川水系）では，2004年以降，カミツキガメが5個体捕獲されている（楠田他，2019；2023）（図3）．このうち，近年では2019年に背甲長12.0 cm，2020年に17.1 cmと29.3 cmの個体が捕獲され，これらの3個体はすべて著者が回収している．いずれも雄であったことから，今回の幼体の雌親は捕獲されていない．2019年に捕獲された個体は背甲長12.0 cmであり，甲の成長線からの齢査定が困難であったが，背甲長に基づく成長曲線（Cordero, 2021）からは生後推定3年の幼齢個体と考えられ，この地域で



図2. 発見場所の伊自良川右岸河川敷のカブ畑と発見時のカミツキガメ孵化幼体（幼体写真：小川まりの氏提供）．

カブ畑の先が伊自良川．

表 1. 捕獲されたカミツキガメの孵化幼体の体サイズ計測値.

計測部位	(計測日)	計測値 (同個体で 2 回計測)	
		2022 年 10 月 13 日	2023 年 1 月 24 日
背甲長 (mm)		31.1	33.7
背甲幅 (mm)		30.3	31.8
腹甲長 (mm)		23.3	25.3
腹甲幅 (mm)		A 24.2	28.7
		B 12.6	14.0
		C 10.5	12.6
尾長 (mm)		37.1	38.3
体重 (g)		8.6	11.9

頭側

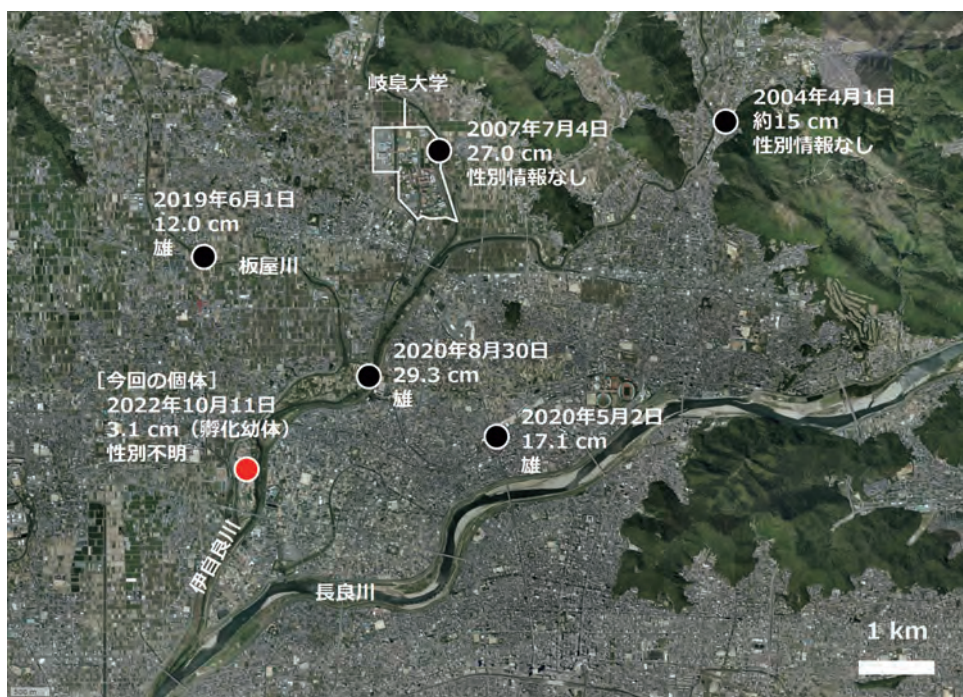
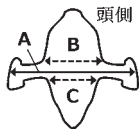


図 3. 伊自良川水系 (岐阜市) で発見されたカミツキガメの捕獲地点, 背甲長および性別. 国土地理院地図に捕獲情報等を記載して作成.

の孵化個体であった可能性もある.

千葉県印旛沼水系では定着しており (千葉県, 2021), 神奈川県藤沢市および三浦市 (天白他, 2015), 静岡県狩野川水系 (加藤・衛藤, 2012), 大阪府 (松木他, 2013), 愛媛県 (村上, 2018 ; 2021), 福島県 (いわき市ウェブサイト「カミツキガメにご注意ください!!」; <http://www.city.iwaki.lg.jp/www/sp/contents/1627353612607/index.html>, 2023 年 1 月 8 日閲覧) でも幼齢個体または孵化幼体

が発見されている. 岐阜県の隣県, 愛知県においても, 2014 年に春日井市と瀬戸市の庄内川水系において, 背甲長 15 cm 以下で 4 歳以下の若齢個体が複数捕獲されている. その後, 2016 年に庄内川水系の矢田川で背甲長約 4 cm の孵化幼体も発見されており (矢部, 2021), 定着初期にあると考えられる. 外来生物の「定着」とは, 「新しい生息地で, 継続的に生存可能な子孫をつくることに成功する過程. 野外に逸出した個体については, 自

然繁殖して種が安定的に存続している状態」と解説されている（自然環境研究センター, 2019）。日本各地で野外繁殖例や定着が報告されつつある中、岐阜県岐阜市においても定着初期にあることが強く危惧される。

本事例に関して、岐阜市役所、岐阜県庁、岐阜県警察と問題点を共有した。これまでも関係機関への働きかけや捕獲調査を続けてきたが、今後の発見個体についてはすべて集約できる体制を組織的に整えつつある。早期の発見と正確な位置情報の蓄積と共に、関係機関の連携強化により、本種の拡大を阻止したい。

謝 辞

本稿をまとめるにあたり、情報や写真を提供いただいた、小川まりの氏と渡邊智之氏、岐阜市環境部環境保全課の福永純一氏と諏佐康子氏に深謝申し上げる。

引用文献

- 千葉県. 2021. 千葉県におけるカミツキガメ防除実施計画書（平成19年6月策定，令和3年3月改定）. 特定外来生物カミツキガメについて. <https://www.bdcchiba.jp/kamitukigame> [2023年1月8日閲覧]
- Congdon, J. D., J. L. Greene, and R. J. Brooks. 2008. Reproductive and nesting ecology of female snapping turtles. p. 123–134. In: A. C. Steyermark, M. S. Finkler, and R. J. Brooks (eds.) *Biology of the Snapping Turtle (Chelydra serpentina)*. The Johns Hopkins University Press, Baltimore.
- Cordero, G. A. 2021. Disentangling the correlated evolution of body size, life history, and ontogeny in miniaturized chelydroid turtles. *Evol. Dev.* 23: 439–458.
- Ernst, C. H. and J. E. Lovich. 2009. *Chelydra* Schweigger, 1812 Snapping turtles. p. 113–137. In: *Turtles of the United States and Canada*, 2nd ed. The Johns Hopkins University Press, Baltimore, Maryland.
- Finkler, M. S. and J. J. Kolbe. 2008. Physiology and ecology of hatchling snapping turtles. p. 158–167. In: A. C. Steyermark, M. S. Finkler, and R. J. Brooks (eds.) *Biology of the Snapping Turtle (Chelydra serpentina)*. The Johns Hopkins University Press, Baltimore.
- Galbraith, D. A. 1993. Review: Multiple paternity and sperm storage in turtles. *Herpetol. J.* 3: 117–123.
- 環境省. 2020. 生態系被害防止外来種リスト（令和2年11月2日改訂）. 日本の外来種対策. <http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html> [2023年1月8日閲覧]
- 加藤英明・衛藤英男. 2012. 静岡県狩野川水系におけるカミツキガメ *Chelydra serpentina* (Testudines, Chelidridae) の定着. 東海自然誌（静岡県自然史研究報告） 5: 41–44.
- 小林頼太. 2021. カミツキガメ科. p. 100–101. 日本爬虫両棲類学会（編）新日本両生爬虫類図鑑. サンライズ出版，彦根.
- 楠田哲士・橋爪涼子・川村きこ・大野倫太郎・野間明加里・大西健夫・説田健一. 2023. 岐阜県内でのカミツキガメおよびワニガメ属の捕獲記録Ⅱ（2019～2022年）. 岐阜県博物館調査研究報告 43: 6–12.
- 楠田哲士・矢部隆・原口句美・野呂達哉・田上正隆・説田健一. 2019. 岐阜県内でのカミツキガメおよびワニガメ属の捕獲記録（2003～2018年）. 岐阜県博物館調査研究報告 39: 15–20.
- 松木崇司・西堀智子・横田寿男・松井正文. 2013. 近畿地方における外来種カミツキガメの捕獲状況について. 第16回自然系調査研究機関連絡会議調査研究・活動事例発表会. <https://www.biodic.go.jp/relatedinst/16th/poster.html> [2023年1月23日閲覧]
- 村上裕. 2018. 愛媛県生物多様性センターにおける外来種対応状況（2018）. 愛媛県生物多様性センター.
- 村上裕. 2021. 愛媛県におけるカミツキガメ対応状況. 爬虫両棲類学会報 2021（1）: 110.
- 自然環境研究センター. 2019. 用語解説. p. 13–21. 最新日本の外来生物. 平凡社，東京.
- 天白牧夫・大澤啓志・勝野武彦. 2015. 神奈川県内の水辺公園におけるカミツキガメの定着要因と防除成果. ランドスケープ研究 78（5）: 667–670.
- 矢部隆. 2021. ホクベイカミツキガメ. p. 58. 愛知県環境調査センター（編）愛知県の外来種ブルーデータブックあいち2021. 愛知県環境局環境政策部自然環境課，名古屋.